

# 初公開！ 萩博物館の



2010  
2/6(土)~4/7(水)

## 萩博物館

〒758-0057 山口県萩市堀内 355  
TEL 0838-25-6447 / FAX 0838-25-3142  
<http://www.city.hagi.lg.jp/hagihaku/>



# 初公開！萩博物館の『宝』2010

萩博物館の収蔵資料のうち、最近新しく寄贈または寄託された歴史・美術関係の資料を中心に、当館の逸品を選びすぐり展示します。国の重要文化財に指定されている萩藩主毛利家ゆかりの太刀も特別公開します。



### 小萩人形 柳橋貞子作

昭和の初め、萩の女性たちの手で作られた小さな人形が起源で、萩の代表的な土産物として盛んに製作された。柳橋貞子は小萩人形の創始者松村ノブに師事し、昭和10年(1935)ごろから製作に携わった。



### 湯沸・炉(煎茶具)

弘化4年(1847)萩藩士奥平佐織・浪江父子が、萩藩主毛利家の菩提寺大照院に寄進したもの。銅・錫・亜鉛の合金製の湯沸と炉には、毛利家の家紋「一に三つ星」が打ち込まれている。



### 井上蘭崖「松陰遺蹟(涙松)図」

井上蘭崖(1875~1947)は、西日本における雪舟研究の先駆者。津和野藩の御用医師の嫡子。画家となり、萩に在住した。画業のかたわら雪舟研究に没頭し、その集大成『雪舟の研究』(未刊)を著した。



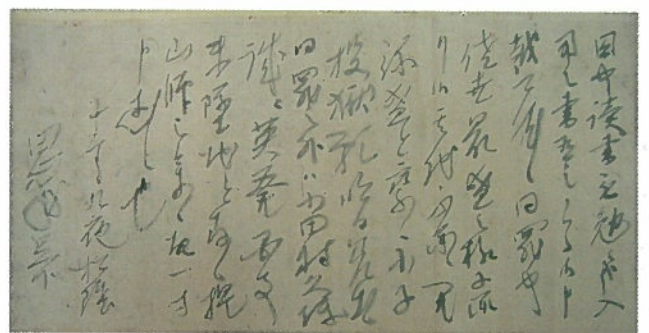
### 森 寛斎「青松海辺群鶴・翠竹巖上遊亀図」

森寛斎(1814~94)は萩出身で、京都画壇の円山派を代表する日本画家。幕末期、京都で絵を学ぶ傍ら尊攘派志士たちと交わり、藩に登用された。維新後は画業に専念し、現在の人間国宝にあたる帝室技芸員となった。



### 太刀銘「延吉」 国指定重要文化財

鎌倉時代末期の文保(1317~18)ごろに活躍した、大和国吉野郡龍門一派の刀工延吉の作。拵には、金梨子地に五七桐・沢瀉・菊紋の時絵が描かれている。6代萩藩主毛利宗広が所用した。



### 吉田松陰書状

安政5年(1858)12月9日、謹慎中の品川弥二郎に宛てた書状。同年12月5日、藩から松陰へ投獄の命が下った。これに対し翌日、弥二郎ら門下生6人は藩を追及したため、自宅謹慎となった。松陰は、謹慎となった門下生が勉学に励んでいるか気にかけている。

会 期◆平成22年2月6日(土)~4月7日(水)  
開館時間◆9:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日なし(年末年始も休まず開館)

観 覧 料◆大人500円、高校・大学生300円、小・中学生100円  
団体割引20名以上20%、障害者割引20%

駐 車 場◆有料 普通自動車(軽自動車を含む)66台(1回300円)  
大型自動車(マイクロバスを含む)8台(1回1,000円)

※ただし市民は無料

### 関連イベント

○呈茶つきギャラリートーク  
学芸職員が解説したあと、有名作家の抹茶茶碗でお茶を差し上げます。  
平成22年2/6、3/6、4/3(第1土曜日)14:00~15:00  
※当日受付限定20名

- ◎JR東萩駅よりタクシー 10分、徒歩 25分
- ◎JR新山口駅よりバス 70分  
(萩バスセンター下車、徒歩 25分)
- ◎萩・石見空港よりバス 75分  
(萩バスセンター下車、徒歩 25分)
- ◎萩バスセンターよりまあるバス  
西回り10分「萩博物館前」下車
- ◎中国自動車道小郡IC、美祿ICより50分
- ◎山陽自動車道防府東ICより60分



## 萩博物館

〒758-0057 山口県萩市堀内 355  
TEL 0838-25-6447 / FAX 0838-25-3142  
http://www.city.hagi.lg.jp/hagihaku/